



「つば」と「よだれ」はどうちがうの

「つば」も「よだれ」も同じ「だ液」

「つば」も「よだれ」も、「だ液」といわれているもので、同じものです。だ液が、口の外に流れ出したものを、よだれとよんでいます。赤ちゃんが、よくよだれを流しているのは、だ液が、大人や子どもより多く出ていることと、口をとじたり、口の中に出ただ液を、飲みこむ力が弱いためです。

だ液は、昼も夜も、わたしたちが寝ているときにも、いつも口の中に出ており、1日に出る量は、大人で牛乳パック1本、赤ちゃんは、9本分くらい出しています。

1日に出るだ液の量



1才 9本 5才 4本 大人 1本

だ液は、体の中でいろいろなはたらきをしている

だ液は、体の中で、いろいろなはたらきをしています。

だ液は、口の中で食べ物と混ぜて、食べ物を飲みこみやすくします。

だ液の中にとけた食べ物の成分は、舌のみぞにしみこみ、味がわかります。

だ液の中の成分は、ご飯やパンのでん粉を分解して、消化しやすくします。

だ液は、食べたたり飲んだりしたものについている、ばい菌を殺すはたらきをします。

だ液は、話をするときに、舌やくちびるが、なめらかに動くようにします。

(監修・保志 宏)

